

# 「インクルーシブな学校運営」通信 第16号

カリキュラム・マネージャー

## 令和8年度の取組と主な改善点

### I インクルーシブな学校運営

1. 学校経営への位置付け  
グランドデザインに明記(中高養) 「インクルーシブな学校運営計画」の策定
2. 教職員への説明  
通信の発行 「モデル事業」に関する研修会の実施(中高養)
3. 生徒・保護者・地域への説明  
保護者向け文書の発出 WEBページによる情報発信 生徒用リーフレットの作成  
PTA 役員会、学校運営協議会を活用した情報提供(中高養)
4. 組織的な運営  
「交流及び共同学習」委員会(中高養)及びSAS委員会(更農)を中心とした推進  
合同「交流および共同学習」委員会による成果・課題の共有(年度末)  
「交流及び共同学習」全体計画の作成(中高養)
5. 「連携校の教育資源活用」実施要項の運用  
連携校への要望集約(年3回) 「受け入れ可能な授業等」の情報交換
6. アンケート調査による成果の検証  
生徒アンケート 教職員アンケート

(改善点)

- 「モデル事業」の成果を令和9年度以降に引き継ぐため、「インクルーシブな学校運営計画」を作成します。また、中高養ではカリキュラム・マネジメントのツールとなる「交流及び共同学習」全体計画を作成します。
- 生徒にも取組の理解を図る必要があることから、生徒向けリーフレットを作成し積極的な関わりを促します。
- 初年度に実施したアンケート調査を実施し、生徒と教職員の意識の変化を把握します。
- 中高養では、情報共有のための全体研修を実施します。



作成中のリーフレット

## II 多様な「交流及び共同学習」の機会の提供

1. 学校間交流  
第2学年「交流学習」(本年度は更農で実施)  
中札内「道の駅」植栽活動(継続)
2. 各教科による共同学習  
更農「カルチベーション」でオンライン共同学習  
「共同学習ウィーク」の設定
3. 新たな「交流及び共同学習」  
「連携校の教育資源活用」実施要項の活用

(改善点)

- 以前から実施していた「道の駅」植栽活動ですが、昨年度から両校の生徒同士の交流の機会と位置づけて実施しています。
- また、本年度は3月に「共同学習ウィーク」を設け、音楽科、美術科、保健体育科などの共同学習を実施します。



上段: R7「道の駅」植栽活動

下段: R7 保健体育科共同学習

## III 共同研修や情報交換等

1. 初任段階教員研修  
更農学校設定教科「カルチベーション」での研修(TT)
2. 公開研究会  
「インクルーシブな学校運営」モデル事業報告会(12月予定)
3. 「共に学ぶ会」の継続  
年8回程度の実施を予定 初任段階教員研修との連携
4. 新たな「共同研修や情報交換等」  
「連携校の教育資源活用」実施要項の活用 連携校の人材活用促進

(改善点)

- モデル事業報告会を実施し、3年間の成果と次年度以降の両校の連携について、構想を発表します。
- ミニ研修会である「共に学ぶ会」を、初任段階教員研修の校内研修として活用できるよう工夫します。



上段: R7「共に学ぶ会」

下段: R7 初任研(TT)

## 「連携校への要望」集約中 = 連携校の教育資源活用 =

実施要項に基づいて本年度1回目の「連携校の要望」を集約中です。先生方のアイデアで、多くの生徒に「多様な個性を認め合い、支え合いながら、共に学んでいける教育環境」を提供していただきますようお願いします。